

平成25年度 当初予算

主な事業の説明書

教育指導部

平成25年度 当初予算

款	項	目	大	事業	ページ
【教育総務課】					
10	2	1	23	東大曲小学校周辺環境整備事業費	8-1
10	1	2	16	教職員コンピュータ管理費	8-2
10	2	2	14	コンピュータ及びインターネット設備経費(小学校・中学校)	8-3
10	3	2	14		
【教育指導課】					
10	1	4	14	学校生活支援事業費	8-4
10	1	4	21	(新規)キャリア教育推進「総合的な学力育成」事業費	8-5
10	1	4	23	(新規)だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費	8-6
10	2	2	17	音のまち大仙楽器サポート事業費(小学校・中学校)	8-7
10	3	2	17		
10	4	2	16	法人立幼稚園補助金	8-8
【学校給食総合センター】					
1~3	学校給食事業特別会計				8-9

※部毎に款・項・目・大事業の順番とする。

事業説明書

10 款 2 項 1 目 23 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育総務課

(施策の大綱) 学校施設の充実

(施策) 教育内容の充実

(基本事業) 学校施設の充実

【事業名】 東大曲小学校周辺環境整備事業費											
【説明項目】 東大曲小学校周辺環境整備事業費について											
【25年度】	19,519 千円										
【24年度】	2,546 千円										
【増減額】	16,973 千円										
<p>1. 事業の目的</p> <p>東大曲小学校は、奥福部内川に沿った大曲字下高畑に位置している。校舎前方に野球場兼グラウンドに隣接して山林があるが、樹木が繁茂していることから日当たりや風通しが悪いほか樹木に付着する虫も多く、さらには中を通っている水路には雨水排水等が滞留するため、以前から地区住民からの改善要望があった。これを踏まえ、児童にとって不衛生な環境に加え危険さえ伴う環境であるため、周辺環境の改善と合わせ学校環境の改善を図りたいことから、立木伐採、盛土、駐車場整備などの周辺環境整備事業を実施するものである。</p>											
<p>2. 事業の目標（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備対象面積 約3,000㎡ <p>平成24年度までに、現地調査業務委託、用地買収、立木伐採・処分、工事発注（整備箇所盛土工まで完了）を完了し、平成25年度に駐車場整備工事（アスファルト舗装）として、61台程度の駐車スペースを確保する。</p>											
<p>3. 事業の概要</p> <p>◎現在の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度当初予算、現地調査業務委託（地形測量、用地測量、立木調査、不動産鑑定、詳細設計業務）平成24年度9月補正予算、公有財産購入（用地買収）、補償費（立木補償、立木伐採、処分費）、工事請負費（既存水路地盤改良、立木抜根処理、盛土工）、登記事務（地積更正、土地表題、所有権移転）が完了済であり下記、事業費を平成25年度当初予算へ計上。 <p>◎実施スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度（当初予算分）現地調査業務委託（地形測量、用地測量、立木調査、不動産鑑定、詳細設計業務）完了済。 ・平成24年度（9月補正分）公有財産購入（用地買収）、補償費（立木補償、立木伐採、処分費）、工事請負費（既存水路地盤改良、立木抜根処理、盛土工）、登記事務（地積更正、土地表題、所有権移転）完了済。 ・平成25年度（当初予算分）工事請負費（本工事駐車場等整備） <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場整備（改良）工事 11,511千円 ・駐車場整備（舗装）工事 8,008千円 （土工、排水構造物、防護柵工、アスファルト舗装工、区画線工） <p>◎整備箇所 大仙市大曲字東大槻・下高畑地内（東大曲小学校隣接地）</p>											
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に現地調査業務及び残土運搬、盛土までを実施。 ・平成25年度に本工事を実施。 											
<p>《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>平成24年度盛土工事において、市街地開発事業より発生した残土を再利用し、経費等コスト削減を図ることができた。良質な残土を確認することが出来たが、残土運搬スケジュールにより、平成25年度において、軟弱地盤の改良を視野にいれ、改善していかなければならない。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="font-size: 1.2em;">継続</p>										
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 25%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">19,519</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">19,519</td> </tr> </tbody> </table> <p>【国県支出金】 【その他】</p>		予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	19,519				19,519
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源							
19,519				19,519							

事 業 説 明 書

10 款 1 項 2 目 16 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育総務課

(施策の大綱)

学校教育の充実

(施策)

教育内容の充実

(基本事業) 学校施設の整備・充実

【事業名】 教職員コンピュータ管理費				
【説明項目】 教職員用コンピュータ管理費 賃貸借料について				
【25年度】	46,395 千円	【24年度】	41,055 千円	【増減額】 5,340 千円
1. 事業の目的				
<p>市内小中学校の校務のために、パソコンやプリンター等の情報機器を整備し、ファイルサーバや認証サーバにより情報流出が起らないようなセキュリティの高い環境の整備を図る。</p>				
2. 事業の目標 (数値目標)				
<p>現在約580名いる教員へ1人1台の校務用コンピュータを整備し、認証が必要なファイルサーバを設置することにより強固なセキュリティ環境を構築する。</p>				
3. 事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 概要：教職員約620名に1人1台の校務用コンピュータを整備。 情報漏えいを防ぐために認証が必要なファイルサーバの整備。 セキュリティ向上のためのウイルスチェックやインターネットでのコンテンツフィルタの整備。 ・ 賃貸借料の内訳：市内各学校の教員が使用するコンピュータ（約586台）及びプリンター等のリース料 ファイルサーバ及び認証サーバ等の各種サーバのリース料 				
【新規】				
<p>教職員用コンピュータ機器賃貸借 (331台) 平成26年4月にWindowsXPのサポートが終了することに伴い、現在利用している586台の教職員用コンピュータのうち、331台のコンピュータが、導入から7年経過しOSのバージョンアップも行えないため入れ替えるものとなる。</p>				
4. これまでの成果と今後の方向性				
<p>平成17年度から教職員1人1台のパソコンの整備を行っている。また、厳格な認証を必要とするファイルサーバを設置することにより、セキュリティの高さは保持されている。ただし、現在利用しているOSのwindowsXPサポート期限が2014年4月となっているため、年次での機器更新が不可欠である。今後は機器更新を行いながら、さらにICTを活用した教育環境を構築していきたいと考えている。</p>				
《H24年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
<p>現在教職員一人に一台のパソコンが行き渡っているためサポートが終了するWindowsXPをセキュリティの観点からWindows7へバージョンアップを行わなければならない。しかし導入から7年経過したパソコンに関してはバージョンアップを行える仕様ではないため、更新が不可欠である。</p>				拡大
5. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
46,395				46,395
【国県支出金】				
【その他】				

事 業 説 明 書

10 款 2 項 2 目 14 事業 10 款 3 項 2 目 14 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育総務課

(施策の大綱) 学校教育の充実 (施策) 教育内容の充実 (基本事業) 学校施設の整備・充実

【事業名】	コンピュータ及びインターネット設備経費 小学校・中学校		
【説明項目】	コンピュータ及びインターネット設備経費 小学校・中学校 賃貸借料について		

【25年度】	53,780 千円	【24年度】	45,443 千円 【増減額】	8,337 千円
---------------	-----------	---------------	------------------------	----------

1. 事業の目的

各小中学校のコンピュータ教室の整備及び、コンピュータ教育および学習の一環としてのインターネット環境の整備充実を図る。

2. 事業の目標（数値目標）

各小中学校1校あたり1教室のコンピュータ教室の整備を行う。基本的には1クラス40人学級にいきわたるように整備を行うが、学校によっては1クラス20人程度の学校もあるため、各学校の児童数推移予測に準じた台数を整備する。

3. 事業の概要

- ・概要：各小中学校にパソコン教室を整備する。
基本的には40人1クラスで行えるように機器を配備。
配備している機器は先生用の管理機端末1台、生徒用端末40台、プリンター、ファイルサーバ、コンテンツフィルタサーバ等。
- ・規模：小学校 コンピュータ 約840台 サーバ 42台
中学校 コンピュータ 約480台 サーバ 22台

【新規】

- ・大曲地域小学校教育用コンピュータ機器賃貸借（大曲：既存交換77台・OSバージョンアップ117台）
- ・太田地域小学校教育用コンピュータ機器賃貸借（太田：OSバージョンアップ：69台）
- ・協和小学校教育用コンピュータ機器賃貸借（協和：既存交換18台・OSバージョンアップ22台）
- ・西仙北小学校教育用コンピュータ機器ウィンドウズ7対応委託業務（40台のOSバージョンアップ）
- ・南外小学校教育用コンピュータ機器ウィンドウズ7対応委託業務（35台のOSバージョンアップ）
- ・大曲地域中学校教育用コンピュータ機器賃貸借（大曲：既存交換66台・OSバージョンアップ80台）
- ・平和中学校教育用コンピュータ機器賃貸借（平和中：既存交換20台・OSバージョンアップ20台）
- ・太田中学校教育用コンピュータ機器賃貸借（太田中：既存交換20台・OSバージョンアップ20台）
- ・西仙北中学校教育用コンピュータ機器ウィンドウズ7対応委託業務（40台のOSバージョンアップ）
- ・南外中学校教育用コンピュータ機器賃貸借（南外中：既存交換13台・OSバージョンアップ20台）
- ・協和中学校教育用コンピュータ機器賃貸借（協和中：既存交換20台・OSバージョンアップ20台）

【計：既存交換234台、OSバージョンアップ483台】

4. これまでの成果と今後の方向性

これまで一般財源だけではなく、インフラ整備事業やICT交付金等の補助を受け整備を行ってきた。そのため機器の整備年度が一定ではなく同じパソコン教室で新旧パソコンが混在している。また現在利用しているOSのWindowsXPサポート期限が平成26年4月となっているため、平成25年度内でのWindows7への移行が必要である。

<p>《H24年度事務事業評価における内容》</p> <p>教育用コンピュータの整備充実とともに、学校において児童がコンピュータに慣れ親しむようにすることや、各教科等における効果的な活用が促進されるようにすることを支援していきたい。また、全教室にLANを設置したため、その利活用できるハードやソフトの導入を行いたい。また平成26年4月にWindowsXPのサポートを終了するため平成25年度内での対応が必要不可欠である。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>拡大</p>
--	---

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
53,780				53,780

【国県支出金】
【その他】

事 業 説 明 書

10 款 1 項 4 目 14 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育指導課

(施策の大綱) 学校教育の充実

(施策) 教育内容の充実

(基本事業) 学校生活の向上・生徒指導の充実

【事業名】 学校生活支援事業費					
【説明項目】 学校生活・日本語指導支援・複式学級支援員等の配置について					
【25年度】	91,126 千円	【24年度】	76,371 千円	【増減額】	14,755 千円
1. 事業の目的					
学校生活・学習活動において様々な課題をもつ児童生徒を支援する。					
2. 事業の目標 (数値目標)					
様々な課題をもつ幼稚園児や小・中学校の児童生徒に対して支援員を配置し、個々の実情に合ったきめ細やかな指導を行うことにより教育環境の充実を図る。 H24年度現在53人枠ある支援員数の増員を図っていく。					
3. 事業の概要					
市内小中学校に55人の支援員を配置する。					
①学校生活支援員 (小学校) 54人 様々な課題をもつ児童生徒に対し、学校生活等の支援を行い、特別支援教育の充実を図る。 25年度は小・中学校に54人を配置予定。					
②日本語指導支援員 (中学校) 1人 外国人児童生徒等の学校生活・学習活動において支援が必要な児童生徒に対し配置。 25年度は太田中学校に配置予定。					
③複式学級支援員 平成25年度は平成24年度に引き続き複式学級解消の見込み。					
4. これまでの成果と今後の方向性					
様々な課題をもつ園児や児童生徒に対して支援員を配置することにより、きめ細やかで適切な指導が可能となり、落ち着いた学習環境が形成され、周囲の児童生徒も学習への意欲をもって取り組むことができる。障害や課題をもつ児童生徒が年々増えている現状であり、増員が課題である。国・県の補助事業等があれば積極的に活用したい。					
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)	
学校生活において、課題をもつ児童生徒に対する支援の必要性は高まってきている。その支援が周囲の学習環境整備にもなり、学力向上の基盤整備となっている。さらに外国人児童生徒等の教育環境の充実のためには今後も必要な事業である。				拡大	
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
91,126	7,100		19,833	64,193	
【国県支出金】 15款 2項 1目:秋田県市町村子どもの国づくり交付金					
【その他】 18款 1項 1目:地域雇用基金繰入金					

事 業 説 明 書

10 款 1 項 4 目 21 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育指導課

(施策の大綱) 学校教育の充実 (施策) 教育内容の充実 (基本事業) 学力・心力・体力がステップアップできる教育の実践の推進

【事業名】 キャリア教育推進「総合的な学力育成」事業					
【説明項目】 キャリア教育、ふるさと教育、研究指定等の事業を総合的に実施する事業について					
【25年度】	3,401 千円	【24年度】	千円	【増減額】	3,401 千円
1. 事業の目的					
<p>キャリア教育、ふるさと教育、研究指定校事業等を一括して総合的な一つの事業として捉えて実施することにより、事業の効率化を図り、より柔軟な事業実施を目指していく。</p>					
2. 事業の目標（数値目標）					
<p>6つの事業がそれぞれに目指す目標に向けて事業を実施するとともに、一括した事業として効率的な予算執行を図る。 また、半数の3事業は、国（県）の補助事業や委託事業の採択を目指していく。</p>					
3. 事業の概要					
<ul style="list-style-type: none"> ○教育アドバイザー設置事業 852千円 教育アドバイザー1名を設置し、児童生徒の心の支援、保護者の教育支援、教職員の指導支援を実施 ○ふるさと体験学習推進事業 1,324千円 実施校2校 児童100人程度 市内農家民泊を通じてふるさと体験学習を実施 ○環境教育 500千円 大曲南中、藤木小、角間川小、大曲西中、内小友小、大川西根小の6校が連携し環境に関する体験学習の実施や講演会の開催 ○英語授業改善プログラム事業 400千円 大曲中が実施する英語授業改善に関する研究指定校事業 ○教育課程研究指定校事業 199千円 四ツ屋小学校が実施する学校全体での教育課程の編成、指導方法等の工夫改善に関する実践研究 ○学力向上等の方策に関する調査研究事業 126千円 西仙北小・西仙北中が実施する学力向上に関する調査研究事業 					
4. これまでの成果と今後の方向性					
<p>ふるさと体験学習、環境教育等はH23年度、H24年度と実施し成果を上げていることから、継続して実施していく。</p>					
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)	
<p>平成24年度のふるさと体験学習は2/3国、県の補助事業1校と単独分1校、環境教育、英語授業改善プログラム事業、教育課程研究指定校事業は全額国の委託費で事業を実施していることから、今後も国、県の補助事業を積極的に活用していく。</p>				改善しながら 継続	
5. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
3,401	1,223			2,178	
<p>【国県支出金】 15款 3項 7目：英語授業改善プログラム事業費委託金 400千円 15款 3項 7目：確かな学力の育成に係る実践的調査研究事業費委託金 625千円 15款 3項 7目：教育課程研究指定校事業費委託金 198千円</p>					
【その他】					

事 業 説 明 書

10 款 1 項 4 目 23 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育指導課

(施策の大綱) 学校教育の充実 (施策) 教育内容の充実 (基本事業) 学力・心力・体力がステップアップできる教育の実践の推進

【事業名】	だいせん防災教育「生き抜く力育成」事業費		
【説明項目】	避難所設営等の実践的な訓練及び研修による小・中学生の防災教育の充実について		
【25年度】	500 千円	【24年度】	千円
		【増減額】	500 千円

1. 事業の目的

東日本大震災から2年の月日が経ったが、学校における防災教育の充実については喫緊の課題の一つとなっている。中でも、地域における小・中学校の避難所設営に関わる対応については、本市の学校教育においても早急に取り組んでいく必要がある。そこで、避難所となる学校と地域の自主防災組織等との連携により、災害時の避難所運営について実践的な訓練を実施することにより、小・中学生の防災教育の充実と資すると共に家庭・地域の防災意識の向上に寄与する。

2. 事業の目標（数値目標）

防災教育の充実の中で、「自らの危険を予測し回避する能力を高めること」「安全で安心な社会づくりに貢献する意識を高めること」が課題となっている。一つ目については、これまで各小・中学校における避難訓練等を通して望ましい能力の育成に取り組んできている。二つ目の「安全で安心な社会づくりに貢献する意識」については、市の地域総合防災訓練等を通して、順次意識の高揚を図っているところである。また、各小・中学校においては、「学校安全計画」および「各種危機管理マニュアル」の整備を進め、防災教育の充実を図ってきている。そこで、二つの課題となっている能力等を効果的に育んでいくために、地域の中学校を拠点として危険回避から避難所設営までの実践的な訓練を実施し、地域の実情にあった初期対応の在り方を身に付けていく。また、この訓練に市内全小・中学校の担当職員及び代表生徒が参加することで、自校の防災教育の充実を図るとともに、子どもたちから家庭や地域の市民へと防災意識を広げていくことを目指していく。

3. 事業の概要

- (1) 時期 10月中旬頃
- (2) 場所 市内中学校
- (3) 参加対象 訓練実施校の全校生徒及び教職員、保護者
実施校以外の市内各小・中学校担当職員及び代表生徒
市総合防災課、消防署、地域住民（町内会や消防団等）、市教育委員会
- (4) 主な活動 地震発生時等の避難訓練及び避難所開設に関わる初期対応

<ul style="list-style-type: none"> ① 生徒避難 ② 避難所開設要請 ③ 避難広報 ④ 避難所の安全確認 ⑤ 住民受付 ⑥ 避難所運営会議 ⑦ 避難所運営業務 ⑧ 避難所設営 ⑨ 炊き出し 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報の活用 ・「災害対策本部」との連携 ・総合防災課との連携 ・消防署との連携 ・地域の自主防災組織との連携 ・教職員及び生徒の初期対応訓練 ・「救護」「物資」「情報」「給食」「衛生」等の分担確認 ・防災備蓄の運搬と体験
--	--
- (5) 事後の活動
 - ① 各小・中学校における計画等の見直しと実践的な訓練の実施
 - ② 各小・中学校における防災教育に関する教職員研修の充実
 - ③ 「中学生サミット」による訓練実施についての情報発信

4. これまでの成果と今後の方向性

本事業の実施により、各学校の防災教育が充実していくことで、児童生徒が自分の命は自分で守ることの大切さを感じ取ることができる。また、児童生徒が実践的な訓練を通して体験したことそのものが家庭や地域へと伝わり、地域住民や広く市民に自主防災組織づくりの重要性を訴える機会につながる。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

総合評価
(今後の方向性)

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
500				500

【国県支出金】
【その他】

事 業 説 明 書

10 款 2 項 2 目 17 事業
10 款 3 項 2 目 17 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 教育指導部 教育指導課

(施策の大綱) 学校教育の充実 (施策) 教育内容の充実 (基本事業) 学力・心力・体力がステップアップできる教育の実践の推進

【事業名】 音のまち大仙楽器サポート事業費
【説明項目】 音楽活動を充実させるための楽器購入経費について

【25年度】 13,700 千円 **【24年度】** 12,000 千円 **【増減額】** 1,700 千円

1. 事業の目的

新人音楽祭をはじめ、子どもから大人まで広く音楽活動が盛んな本市。保護者等の負担が大きく購入に苦慮している楽器購入を行うことで、地域文化の土壌を支えていく小・中学生の音楽活動を充実させ、市民全体の文化活動のますますの発展向上に寄与する。

2. 事業の目標（数値目標）

大曲は「音と光と水のまち」と表現されるが、合併後このキャッチフレーズが大仙市全域に広がりつつある。特に、吹奏楽やマーチングなどの演奏・演技のレベルは全国的にも認められているところである。この誇れる文化をこれまで以上に本市のよさとして自覚し、他へと発進していくために学校と地域が一体となった音楽活動を展開していくことが必要であるとする。そのため、小学校から中学校へと順に楽器購入や更新を進めることで、よりよい音楽表現を求めた学校単位の活動を充実させるとともに、市全体としても小・中学生のバンド活動の充実発展を期し、子どもたちから市民へと夢や希望を与える活動を展開していくことを目指していく。（各校の要望の8割程度の実現を目指していく。）

3. 事業の概要

- ・平成23年度現在、部活動として音楽活動をしている学校に予算配分を行う。
平成23年度から平成26年度 小学校重点整備期間
平成23年度から平成27年度 中学校重点整備期間（1年前倒し）
- ・吹奏楽（管楽器等）関係は、児童生徒数に応じて以下の予算を配分する。
児童生徒数が300人未満の小学校 2,000千円
児童生徒数が300人以上の小学校及びすべての中学校 3,000千円
- ・小学校和太鼓関係は、一律700千円の予算配分とする。*（太）の3校が該当（単位：千円）

実施年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
小学校	協和 3,000 神宮寺 2,000 中仙 2,000	大曲 3,000 太田南 2,000 内小友 2,000 大川西根 2,000	花館 3,000 太田東 2,000 藤木 2,000 大曲(太) 700	四ツ屋 2,000 横堀 2,000 角間川 2,000 高梨(太) 700 協和(太) 700		
中学校	太田 3,000	南外 3,000	仙北 3,000 豊成 3,000	平和 3,000 中仙 3,000	大曲 3,000 大曲西 3,000 大曲南 3,000 西仙北 3,000 協和 3,000	
合計額	10,000	12,000	13,700	13,400	15,000	

4. これまでの成果と今後の方向性

平成23年度に新規事業として実施。学校の期待、要望に応え、平成25年度以降の年次計画を前倒して早期整備を目指していく。平成25年度以降の予算額は小学校1,510万円 中学校2,700万円と見込まれる。

《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

平成24年度予算の早期執行に努め、児童生徒が楽器を活用し、教育活動をより充実させており有効である。

総合評価
(今後の方向性)
改善しながら
継続

5. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
13,700				13,700

【国県支出金】
【その他】

事業説明書

10 款 4 項 2 目 61 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部教育指導課

(施策の大綱) 学校教育の充実

(施策) 就学前教育の充実

(基本事業) 幼保の認定こども園化・社会福祉法人化

【事業名】 法人立幼稚園補助金																																									
【説明項目】 法人立幼稚園への補助金について																																									
【25年度】 199,600 千円	【24年度】 220,429 千円 【増減額】 △ 20,829 千円																																								
1. 事業の目的																																									
市立から法人立となった幼稚園の継続的な園運営や教育、保育環境の充実を図る。																																									
2. 事業の目標 (数値目標)																																									
○「大仙市立大曲南幼稚園及び大曲北幼稚園の経営移譲に関する協定書 (平成20年3月26日締結)」により社会福祉法人大曲保育会に移譲、「大仙市立幼稚園の経営移譲に関する基本協定書 (平成22年4月26日締結)」により、社会福祉法人大空大仙に移譲。																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>法人移譲 (大曲保育会)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>法人移譲 (大空大仙)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>法人移譲 (累計)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> </tbody> </table>		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	公立	8	6	6	6	4	1	0	法人移譲 (大曲保育会)	0	2	0	0	0	0	0	法人移譲 (大空大仙)	0	0	0	0	2	3	1	法人移譲 (累計)	0	2	0	0	4	7	8	(単位: 園) 平成25年度移譲 南外幼稚園
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25																																		
公立	8	6	6	6	4	1	0																																		
法人移譲 (大曲保育会)	0	2	0	0	0	0	0																																		
法人移譲 (大空大仙)	0	0	0	0	2	3	1																																		
法人移譲 (累計)	0	2	0	0	4	7	8																																		
3. 事業の概要																																									
○ (福) 大曲保育会、(福) 大空大仙の2法人に対する補助金																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>大曲保育会 (2園)</th> <th>大空大仙 (6園)</th> <th>計 (8園)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 幼稚園運営費補助金</td> <td style="text-align: right;">49,775,000 円</td> <td style="text-align: right;">141,038,000 円</td> <td style="text-align: right;">190,813,000 円</td> </tr> <tr> <td>② 初期電算導入費補助金</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">1,867,812 円</td> <td style="text-align: right;">1,867,812 円</td> </tr> <tr> <td>③ 経営安定化補助金</td> <td style="text-align: right;">300,000 円</td> <td style="text-align: right;">364,000 円</td> <td style="text-align: right;">664,000 円</td> </tr> <tr> <td>④ 預かり保育事業補助金</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">168,000 円</td> <td style="text-align: right;">168,000 円</td> </tr> <tr> <td>⑤ 通園バス運行費補助金</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: right;">6,087,000 円</td> <td style="text-align: right;">6,087,000 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">50,075,000 円</td> <td style="text-align: right;">149,524,812 円</td> <td style="text-align: right;">199,599,812 円</td> </tr> </tbody> </table>		大曲保育会 (2園)	大空大仙 (6園)	計 (8園)	① 幼稚園運営費補助金	49,775,000 円	141,038,000 円	190,813,000 円	② 初期電算導入費補助金	/	1,867,812 円	1,867,812 円	③ 経営安定化補助金	300,000 円	364,000 円	664,000 円	④ 預かり保育事業補助金	/	168,000 円	168,000 円	⑤ 通園バス運行費補助金	/	6,087,000 円	6,087,000 円	計	50,075,000 円	149,524,812 円	199,599,812 円													
	大曲保育会 (2園)	大空大仙 (6園)	計 (8園)																																						
① 幼稚園運営費補助金	49,775,000 円	141,038,000 円	190,813,000 円																																						
② 初期電算導入費補助金	/	1,867,812 円	1,867,812 円																																						
③ 経営安定化補助金	300,000 円	364,000 円	664,000 円																																						
④ 預かり保育事業補助金	/	168,000 円	168,000 円																																						
⑤ 通園バス運行費補助金	/	6,087,000 円	6,087,000 円																																						
計	50,075,000 円	149,524,812 円	199,599,812 円																																						
4. これまでの成果と今後の方向性																																									
平成20年度の大曲南、大曲北幼稚園の移譲を皮切りに、平成25年度の南外幼稚園で最終となる。市立時の保育・教育サービスを維持するため、安定的な園運営は不可欠であり、今後も継続して補助する必要がある。ただし、経費削減のため法人の経営手腕を最大限に発揮していただき、補助金の削減を働きかけていく。																																									
《H24年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》	総合評価 (今後の方向性)																																								
現行の補助金の算定は、補助基準額 (運営費、人件費、施設管理費等) から保育料や国・県補助金等の収入を控除した額を法人立幼稚園運営費補助金として交付している。今後は、保育料等の自主財源の拡大を図りながら、社会福祉法人による自主運営を目指す必要がある。	改善しながら 継続																																								
5. 財源内訳																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>国県支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">199,600</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">199,600</td> </tr> </tbody> </table>	予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	199,600				199,600	(単位: 千円)																														
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																																					
199,600				199,600																																					
【国県支出金】																																									
【その他】																																									

事業説明書

款 項 目 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 教育指導部教育総務課学校給食総合センター

(施策の大綱) 学校教育の充実

(施策) 教育内容の充実

(基本事業) 学校施設の充実

【事業名】 学校給食事業特別会計				
【説明項目】 学校給食に係る事業について				
【25年度】	926,309千円 【24年度】 912,531千円 【増減額】 13,778千円			
1. 事業の目的				
大仙市内の児童・生徒に安全・安心な学校給食を提供し、学校給食の普及充実及び食育の推進を図る。				
2. 事業の目標（数値目標）				
食数：6,841人×年間190日、【認定こども園】105人×年間290日 給食費納付金：345,402,000円（滞納繰越分含む）				
3. 事業の概要				
単位：千円				
施設区分	事業名			
全体	金額			
	職員人件費 107,690			
	元利償還金 108,065			
	予備費 2,000			
	給食センター運営委員会委員報酬 61			
	給食材料費 348,092			
	車両費 6,504			
	管理及び運営費 116,087			
	調理運搬業務委託経費 236,997			
	西部学校給食センター建設基本構想策定費 92			
	学校給食食材等検査事業費 721			
総計	926,309			
4. これまでの成果と今後の方向性				
調理・運搬業務を委託している（社）大仙市学校給食協会と密に連携を取り、安全・安心な学校給食を提供し食育の推進を図ってきた。今後も、児童・生徒の健全な発達に資する給食を提供していく一方、災害時の拠点センターとしての役割意識を常に持ちながら給食事業を推進していく。				
また、この度、中仙学校給食センターにおいて、ノロウイルスによる食中毒事案が発生したことを踏まえ、感染拡大防止に全力を挙げ、保健所等の指導を受け、給食センター関係全職員の定期ノロウイルス検査を実施するなど、衛生管理等を見直し安全・安心な学校給食の提供に努めていく。				
《H24年度事務事業評価における内容》	総合評価 (今後の方向性)			
学校給食は、「食」を通して正しい食習慣を養い、食文化の伝承や食糧の生産について正しい理解に導くことなど学校教育の重要な一部と位置づけられており、学校と連携しながら積極的な食育の推進が求められている。また、今後は園児、児童、生徒数の減少や学校統合などによる各給食センターの再編も視野に入れ、施設維持管理費等の一層の削減に努めながら継続すべきである。	改善しながら 継続			
5. 財源内訳				
(単位：千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
926,309			348,405	577,904
【国県支出金】				
【その他】				
	・ 01 款	01 項	01 目	学校給食センター使用料 2千円
	・ 04 款	01 項	01 目	給食費納付金 343,820千円
	・ 04 款	01 項	01 目	滞納繰越分 1,582千円
	・ 04 款	01 項	01 目	雑入（自動販売機電気使用料等） 30千円
	・ 04 款	01 項	01 目	認定こども園給食調理経費等負担金 2,971千円